

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	みのり保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会		

平成19年11月29日

総 評	<p>まず保育園のスタッフ全員が一丸となったこの第三者評価事業への取り組みがひしひしと感じられました。その成果を理事長、園長をはじめ、アドバイス指導された方やスタッフの方全員で真摯に、親切に説明され、第三者評価事業の意義、目的を改めて実感させていただきました。この前向きな取り組みの成果は田や畑が広がるのびのびとした環境の中での園児の生活にも充分感じられるものでした。園児はとても元気で明るく、挨拶がしっかり出来、礼儀正しくできることは適切な保育がなされていると評価します。</p> <p>一から立ち上げられたこの成果は今後の維持、継続、発展へと繋がっていくものと確信いたします。専門的な立場の方の参加は的確な視点からの基礎づくりに大変役立ったのではないかと高く評価させていただきます。</p> <p>この取り組みを通しての、職員の質の向上や信頼関係の深まり「ひとつになった」という実感は保育環境の質の向上へと今後も還元されていくものと思います。今回の成果を維持、継続、発展されること、又第三者評価を定期的に受診し活用されることをお勧めいたします。</p>
特に良かった点(※)	<p>I - 2 - (1) ① 中長期計画がきちんと作成されビジョンに沿った計画が組織的に行われています。第三者評価に向けて7つの委員会を立ち上げ職員の総力上げての努力が「完成された良い成果物」として実り職員の手引書となって役立っています。</p> <p>II - 4 - (I) ② 環境を活かし地域との結びつきを大切にして、自然の中での保育がされています。園だよりも地域の声・地域の人の書いたものが掲載されていることは、良い取り組みとなっています。</p> <p>III - ② - (2) ① サービスの向上に向けた取り組みはこの第三者評価を通して、サービス内容を定期的に評価し、改善していく体制を整備され職員全員で取り組んでいます。</p> <p>連絡ノートが手書きで職員の努力は好感がもて、又、文章力も優れています。</p>

<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<p>Ⅱ - 2 - (1) ② 人事考課については準備中です。個別の自己評価に関して、「各個人へフィードバックはこれからです」ということで「職員のやる気・資質の向上」に繋がると考えられるので早期の具体化をお勧めします。</p> <p>Ⅱ - 2 - (3) ② 個別の職員研修計画は策定されていません。例えば「個人研修計画ファイル」によるものがあれば、職員にあった目標や希望に沿ったものを計画されることが、望まれます。</p> <p>A - 1 - (3) ① 保育環境に関して、1 F が和式トイレであったことが、多少気になりました。今の生活様式の中ではほとんどが洋式トイレではないかと考えられるので、ハード面での改善もご検討ください。</p>
---------------------------	--

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	社会福祉法人みのり福祉法人 みのり保育園
施設種別	保 育 所
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成19年11月29日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	A	A
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	A	A
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

大項目 I はAと記載されていることは大変な努力をされたと、高く評価できます。

理念や基本方針は保育園のしおりにわかり易く記載され保護者や地域へも周知できるように発信し、職員には職員室や保育室等に掲示され誰もがみられるようにされています。

中長期計画も適切に策定され職員や保護者にも園だより等で、具体的に知らされています。

職務分担表も役割と責任など明確にされ管理者が各委員会に、積極的に参加され管理能力が発揮されています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A	A
		③ 外部監査が実施されている。		A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

外部監査も実施されており経営環境は適切です。

人事管理においては研修計画も実施されていますが、個人研修ファイル等を用いて、それぞれの職員に沿った研修目標や希望による計画が出来ることでより効果的な質の向上に繋がるものと思われます。

又、人事考課に関しては「自己評価を各個人へフィードバックする」と言う点では「まだこれからです」ということであり、これは「職員や保育園の発展に繋がる」と考えられるので早期の具体化をお勧めします。

安全管理や地域との連携は積極的にかかわりを持つために、園だより「地域の声」を掲載したり周辺地域のお年寄りに畑仕事を教わったり、苗の植え付けを教えてもらうなど、子どもとの関わりを持ち、ボランティアや実習の受け入れもされています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-2 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-3 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	A	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			A	A	
Ⅲ-2-2 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-3 サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-1 サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-2 サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-1 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-2 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

大項目Ⅲ福祉サービスに関する事項は、自己評価Aと記載されており、各種マニュアルや規定等整備され、適切に確保されています。

保護者の満足度を知るために、連絡ノートを活用し、相談や意向などが記入されることで、具体的な取り組みが保育に反映しています。

各委員会での具体的な活動は、チェックリストで確認しながら、的確に行われています。保育内容に関してはチェックリストを活用し、職員会議で説明・検討し周知されています。

卒園後の継続的なかわりも、行事案内や季節の挨拶など積極的に行われています。

月間指導・週案計画等会議で、実施後の見直しが行われています。

子ども一人ひとりに寄り添った保育の実施が適切に行われ、又具体的な見直しも、日々行われています。

福祉サービスの具体的な仕組みと、取り組みが職員全体で実施されていることが、日々努力されているのだと実感しました。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	社会福祉法人みのり福祉法人 みのり保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成19年11月29日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

発達援助の基本に関して、年間・月間・週計画に基づく指導が作成され実施・評価・反省・見直しがなされ、次の計画に活かせるようなアドバイスがありそれに基づき次の計画が立てられています。

健康管理・食事に関しては、健康・安全委員会が、作成した、チェックリストに基づく環境が整えられています。

食事時間は楽しく食べられる工夫、お話を放送したり献立を放送で流したり、また毎週好きなクラスで食べられるようなシステムが組まれています。

食事環境は和やかに、また、残食もほとんどなくテーブル椅子に座って、落ち着いて食べられる雰囲気が工夫されています。

* 子どもの発達援助の項目に関してはすべてAが記載されており、努力されていることとして高く評価します。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

・保育環境の整備は 換気や通気を行い室温の一定化の設備もあり、又午睡時の照明にも配慮されています。

子どもたちは、それぞれ役割があり子どもの意欲を引き出せるよう、工夫されています。

保育内容は、一人ひとりの気持ちを受け止めながら、大切に工夫された保育がされています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている		A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている		A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている		
	A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている			A	A
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている			A	A
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			A	A
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			A	A

【自由記述欄】

個別の面談は希望者を行われていますが、日々保護者とは連絡帳で蜜な情報交換を行うなど工夫されています。

虐待に関してはマニュアルなどに基づく仕組みが準備されています。

安全・事故防止に関して、調理場のチェックシートやヒヤリハットなどにより職員全員が周知できるように工夫されています。

一時保育は実施されていません。

防火・防災に関しては、委員会でマニュアルに基づき対応しています。職員への周知は職員会議などで行っています。